

「税」とともに生きていく

豊岡中学校 三年 金澤 真之介

公園の緑が太陽の光を浴びてキラキラと輝く五月を迎えると、市役所から納税の封筒が届きます。

我が家にも小さな軽乗用車が一台あるので自動車税から始まり、家屋税、国民健康保険税など数種の税金を納めています。今年も無事納税を済まし「これで一年、国民の義務を果たすことができました。」と満足そうな笑顔で空を見上げました。

納付された国民の税金はどの様に使われているのでしょうか。僕らの市では中学生まで医療費が無料になります。虫歯の治療や、部活での怪我、風邪の治療など、保険証さえあれば無料で診察、治療が受けられるのです。ここでも国民の税が使われています。また、家族の中に難病を患い、高額な医療費が掛かる場合でも国で指定されている病気なら一定額以上、請求されることはありません。保険制度の有り難いところです。学校の帰り道、でこぼこで歩きにくそうな路地が二週間程で、きれいに舗装されました。ご高齢の方々が手押し車を引きながら楽々と舗装された道を歩いて行きました。この道路の両側の家々がすっきりと明るく見えました。この様に私達が納めた税金は、目に見える形であったり、国保税の様に目に見えない形でいざという時に大きな力を発揮して私達の生活を守ってくれる力強い見方なのです。

僕達中学生は平和の世の中に産まれ大切な税金を使っていただけ、「教育」という人間としての有り方を学んで来ました。そして、私達の後に続く小さな子供達も、豊かな環境で伸び伸びと育つことができるよう、税は使われるべきだと思います。僕は大人に近づくにつれ、世間に恩返しのできる知識と技術を身につけて、小さな力でも現実のものにしていきたいと思っています。家族の温かい愛情に育まれ、健康な身体に恵まれ、与えられる知識を将来の自分の力として生かしていけるように頑張りたいです。

「税」として国民の力の結晶であるお金を使っていただけ、平和、健康、安全、教育など目に見えない「大きな心のゆとり」が僕たちには保障されています。僕も今は、守られている立場ですが近い将来一人の大人として胸を張って納税のできる人になれるよう、勉強に運動全ての面で成長していきたいです。納税された「税金」を有意義に使い、日本という国がより豊かな国になるよう僕たちの将来に期待してください。